競　技　注　意　事　項

１　競技は、2017年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項・競技注意事項により実施する。

本競技会は不正スタートの１回失格を適用する。

但し、四種競技は単独種目と異なり、同一競技者が２回の不正スタートで失格となる。

２　サブグラウンドは、第一中学校グラウンドを使用すること。

３　砲丸投の練習は、サブグラウンドでは行わない。投てきは、競技開始前に本会場で練習を行う。

４　招集点呼

　①　招集点呼は、招集完了時刻の10分前から開始する。招集完了時刻は、トラックは競技開始15分前、フィールドは30分前とする。但し、男女棒高跳については9時に現地招集開始とする。開会式終了後、直ちに競技場所に集合すること。

 ②　選手は、招集所に来て役員の点呼をもって完了する。招集時間に遅れたものは出場できない。

　③　招集は、本人が直接点呼を受ける。但し、本人が競技中の場合に限り代理人を認める。

　④　四種競技出場者は、第１種目は招集所で点呼を受け、その後の種目については招集完了時刻までに

競技場所に直接集合すること。

　⑤　リレーの招集に際しては、招集完了時刻の１時間前までにオーダー用紙１部を競技者係まで提出す　　ること。オーダー用紙は学校受付で配布する。

５　男女２００ｍの予選は全てタイムレースとし、上位８名により決勝を行う。

６　リレー競技の予選は全てタイムレースとし、上位８チームにより決勝を行う。

７　８００ｍ、１５００ｍ、３０００ｍはタイムレース決勝とし、上位８名をもって決勝順位とする。

　　１５００ｍ、３０００ｍについては規定の人数を越えて競技を行う場合もある。

８　タイムが百分の１桁まで同記録の場合は、千分の１桁を写真判定で確認し、次ラウンドへの進出を決定する。千分の１桁まで同記録の場合は抽選により決定する。

９　１年男子１００ｍＨは、中学女子１００ｍＨの規定に合わせる。

　　（スタートから１台目まで13ｍ、インターバル８ｍ、ハードルの高さ76.2cm）

10　走高跳と棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。但し、状況により変更することもある。その場合

の決定は審判長が行う。（**太数字**は通信参加標準記録）

男子走高跳　　（練習125）130・135・140・・・**165**・170・173　以降3cm刻み

女子走高跳　　（練習105）110・115・120・・・140・**143**　以降3cm刻み

四種男子走高跳（練習120）125・130・135・・・150・155　以降5cm刻み

四種女子走高跳（練習 100）105・110・115・・・125・130　以降5cm刻み

男子棒高跳　　（練習200・300・350）200・210・220・・・・280・**290**・300・・・・

女子棒高跳　　（練習150）160・170・180・・・・280・290・300・・

11　フィールド種目の計測ラインは設けない。また、三段跳の踏み切り板は砂場より８ｍの位置とする。

12　競技者は規定のナンバーカードをユニフォームの背と胸につける。ただし、走高跳、棒高跳、走幅跳、　三段跳の競技者は背又は胸の片側だけでもよい。

〈式典次第〉

|  |  |
| --- | --- |
| 開会式 | 閉会式 |
| 　 <選手集合　8:35>　１　開会宣言（競技委員長） 8:40　２　国旗、市旗、中体連旗掲揚　３　優勝杯返還　　　　　　（前年度リレー優勝校）　４　開会の挨拶　５　祝　辞（本間教育長）　６　選手宣誓 （選手代表）　７　競技上の注意・競技開始宣言（審判長）　８　閉式通告　　　退　場 |   　 <選手集合　16:30（予定）>　１　開式通告　２　表　彰　　　・リレー種目　　　・リレー以外の種目（各校校長）３　講　評（審判長）　４　閉会の挨拶　５　国旗、市旗、中体連旗降納　６　閉会宣言（競技委員長） 　 退　場 |